

<b>化学療法治療計画書</b>
------------------

発行日 年 月 日

〈治療レジメン名〉 肺がんPEM+B-mab維持療法 変更 (① / 、② / )

薬剤	投与量	投与方法	投与スケジュール
PEM(アリムタ)	500mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	Day 1
B-mab(アバスタチン)	15mg/kg	点滴静注	Day 1

外来 科 主治医

患者名 様 ID:

生年月日:(M・T・S・H) 年 月 日( 歳) 性別: 男性・女性

身長 cm 体重 kg 体表面積 m<sup>2</sup> 病名

No.	予定時刻	ルート	用法	薬剤名(規格量)	指示量	施行量	所要時間
	:	主管	点滴	生理食塩液	50mL	1B	ルート確保
ア	:	主管	点滴	グラニセトロン注3mgバッグ デキサート注	100mL 6.6mg	1B 1V	30分
イ	:	主管	点滴	生理食塩液 アリムタ注	100mL 500mg/m <sup>2</sup>	1B mg	10分
ウ	:	主管	点滴	生理食塩液 アバスタチン注	100mL 15mg/kg	1B mg	【初回90分】 分
	:	主管	点滴	生理食塩液 (ルート確保に用いた残り)			

〈治療開始日〉 年 月 日 〈変更開始日〉① 年 月 日

〈変更開始日〉② 年 月 日 〈変更開始日〉③ 年 月 日

〈投与スケジュール〉 21日(3週)で1クール

Day	1	8	15
PEM(アリムタ)	↓	休薬	休薬
B-mab(アバスタチン)	↓	休薬	休薬

\*7日以上前より1日1回パンピタン末1.0g連日経口投与。PEM最終投与22日後まで可能な限り投与。

\*7日前、ムコバラミン注2A(1mg)筋注、以後9週に1回筋注。

【注意事項】(同一レジメンを使用する患者全員に対して)

例) バイタルをとるタイミング・回数、血管外漏出時の対応(Dr. コール前にする事)

・アバスタチン注は、初回投与時間を90分で行い、忍容性が認められれば、2回目は60分、3回目以降は30分に短縮して投与可能である。

・アリムタ注の調製は、各規格の生食溶解量、全量採取量について下記の表を参照とすること。

	100mgバイアル	500mgバイアル
1バイアルあたりの溶解量	4.2mL(25mg/mL)	20mL(25mg/mL)
1バイアルあたりの全量採取量	4mL	20mL

例) アレルギー、終了後の安静など

レジメンNo.( )

|  
|